



II

かんきょうもんだい たんきゅう

環境問題を探究しよう！





第1章 トキを野生にかえす

トキが空にかえってきた！



日本の野鳥のシンボルであり、佐渡市の自然のシンボルでもあるトキ。空を舞う美しいが、たや、絶滅という運命をたどったことで、トキはわたしたちに強いあこがれと共感をあたえてきました。

ここからは、5回にわたる放鳥によって、いよいよ佐渡島の空にもどったトキの暮らしぶりを学び、トキがわたしたち人間とともに生きていくために何が必要か、みなさんで考えてみましょう。

トキの放鳥

2008（平成20）年9月25日、野生絶滅したトキを復活させることを目指して、10羽のトキが新穂正明寺から佐渡島の空へと放鳥されました。実に27年ぶりに、日本の大空に野生のトキが羽ばたいたのです。

放鳥は、その方法をいろいろと研究しながら、これまでに5回行われ、合計78羽のトキが野生にかえされました。2011年9月の終わりごろで、佐渡島には合わせて47羽が生活しているといわれています。

実際に放鳥されたトキを観察することで、これまではよくわかっていなかったトキの生活のしかたが、少しずつ明らかになってきました。

放鳥前に用意していた山の中のビオトープが、あまりえさ場として使われていないことや、野生でのヒナの誕生がまだ実現していないことなど、課題は多くありますが、わたしたちみんなが知恵を出しあって、野生のトキが安心して生活していける環境を、つくりあげていきたいですね。





えさ場から飛び立つトキ

放鳥トキを見つけたら……

次のようなことがらに注意して観察しましょう。

- ①トキをおどろかせない
- ②むやみにトキに近づかない
- ③トキにえさをあたえない
- ④地域の人にめいわくをかけない
- ⑤トキが巣をつくっているときは、巣に近づかない

- ・トキはおくびょうな鳥なので、車で観察するときは、トキと車の間を数百メートル以上保ち、車の中から観察しましょう。
- ・大声や大きな音を立てないようにしましょう。
- ・大ぜいで観察するとトキはこわがります。なるべく少ない人数で観察しましょう。

